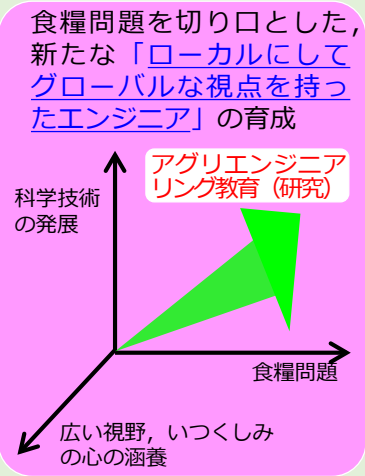


事業計画全体概要： <大分高専> アグリエンジニアリング教育(研究)の導入

大分高専 学習・教育目標

- ◆ **愛の精神**
世界平和に貢献できる技術者に必要な豊かな教養，自ら考える力， いつくしみの心を身につける
- ◆ **専門工学活用**
専門工学の知識を修得してその相互関連性を理解し， これを活用する力を身につける



【工業:ものづくり】
エンジニアの新たな活躍の場の創出

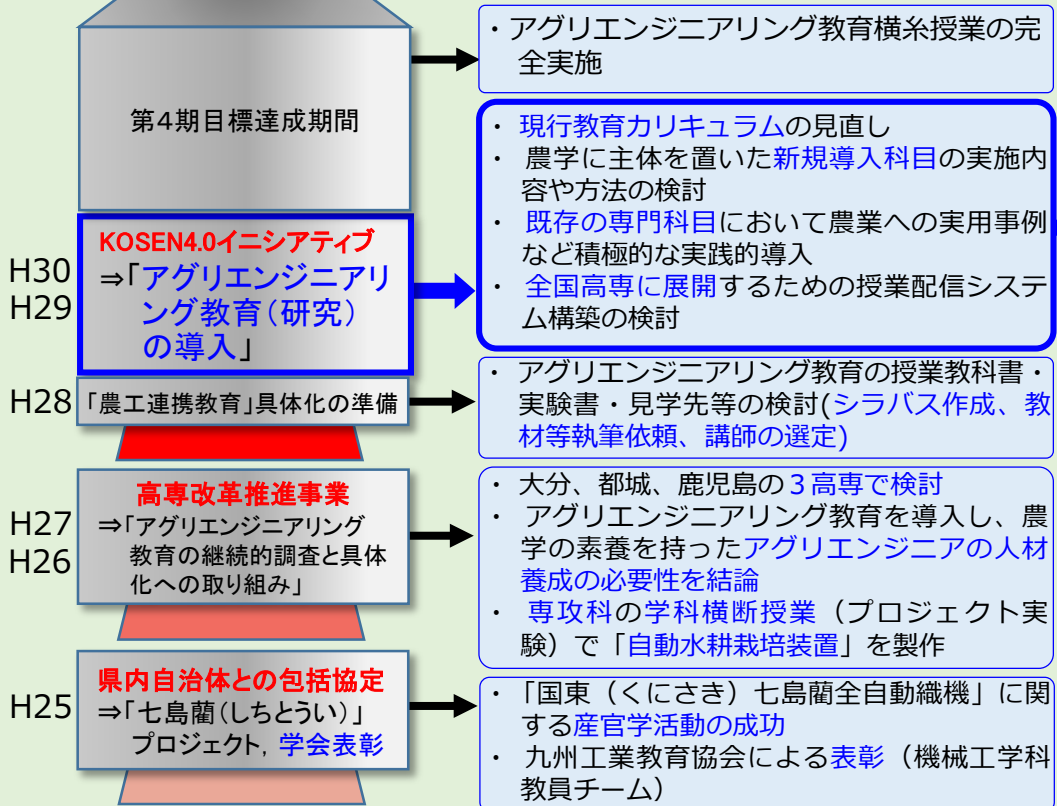
- ・工業製品や情報システムの輸出
- ・生体メカニズムによる新技術の創出

【農業:いきものづくり】
国内問題(ミクロ) & 世界的問題(マクロ) まずは国内問題から (儲かる農業・輸出産業化をめざす)

日本農業の課題：①農業従事者の高齢化，②狭隘な農地，③高コスト・低収益率

農業の工業技術化： 農作業ロボット、防災管理、農業用各種機械・水揚送システム、土壌・液肥・ガス・成長管理、センシング技術

学生にとっての「いきものづくり」 → 「喜び：生命の大切さを実感」
「希望：将来の活躍の場の拡大」



① アグリエンジニアリング教育カリキュラムの推進

- ・「ものづくり」と「いきものづくり」の違いを体感的かつ効率的に理解させるには
- ・エンジニアに必要な農学の素養とは
- ・農業現場もエンジニアの働く場であるとの使命感を持たせるには
- ・生物/農学概論/アグリビジネス/実験・実習/見学など

縦系教育 専門科目

アグリビジネス、農工連携研究
工学的な経営視点、システムデザインの修得

農学概論、農工連携実習
いきものを扱うセンス、生産のむずかしさを学ぶ

生物学講義、植物工場実例見学
モチベーションの醸成

機械系 電気系 情報系 土木系

横系教育 農工連携科目

農工連携教育カリキュラム

② アグリエンジニアリング研究の積極的推進

- ・収穫作業の自動化
- ・LED照明
- ・栽培床土壌管理
- ・栽培システム